



# No.15 学校図書館 司書だより

## 2013年2月

### 図書館クイズ

今年の直木賞の一つは、岐阜県出身の朝井リョウ氏の「何者」でした。では、八百津町出身の昨年度の受賞者は？

## 杖しと読書

### 童話に親しむ

渡辺 俊幸

「今夜はどの本をよもうか。」  
「ちいさなおうち」  
「よしよし」

双子誕生で、私共祖父母と一緒に生活している長男である三歳の孫と寝ることになった。

早速絵本の読み聞かせを始めた。ねらいは子守歌がわりと本による子育てだ。早く寝付かせるため本人の希望を聞く。要望に応じて同じ本を何回も読んだ。バージニア・リー・バートン著、石井桃子訳の「ちいさいおうち」もその一つだ。自然豊かな丘の上に建てられた小さな家は、一日の流れ、季節の流れ、世の移り変わりを見ている。家のまわりは騒々しい都会になってしまう。やがて又田舎の丘の上に移築され「変わらない」喜びを味わう。絵も丸味のある、子どもをひきつけるものだ。

小学校教科書にあるレオニの「スイミー」も何度も読んだ。絵も素晴らしいが、谷川俊太郎の訳文が美しく、読み手がそらんじてしまった。M&H・A・レイ原作「おさるのジョージ」。中川李枝子、山脇百合子の「ぐりとぐら」シリーズも何度も読んだ。寝かしつけたいたので、寝息が聞こえれば「しめた！」と止める。ところが「途中で止めるとはなんですか。中途半端な人間になりますよ。」とおどされびっくり、悩んだことも今は苦笑だ。いろいろのエピソードが生まれ、孫が小学校高学年まで続いた。読み聞かせはすぐ自分に目が向く。読む本選びだ。作品に注目せざるを得ない。それに役立つのは童話研究会だった。読書サークル主催で図書館で開かれた研究会に参加した。レオニが取り上げられた。彼がオランダで生まれアメリカへ亡命し「自分とは、何者なのか」を生涯に渡って探し続けた作家であることを知った。彼の願いを知ると作品も読みやすい。もやもやした感じが霧散した。

## 読書タイム

市内の学校・園・施設の子どもと読書をのぞいてみました

### 山之上小学校

山之上小学校では、児童の読書への関心を高め、積極的に本と触れあえるように六月と十一月に読書月間を位置づけている。図書委員会が行う主な取り組みは、①毎日Wブックデー②貸出し時間枠の拡大③学年ごとの目標冊数達成で「しおり」「紙バッグ」のプレゼント

山之上小学校では、児童の読書への関心を高め、積極的に本と触れあえるように六月と十一月に読書月間を位置づけている。図書委員会が行う主な取り組みは、①毎日Wブックデー②貸出し時間枠の拡大③学年ごとの目標冊数達成で「しおり」「紙バッグ」のプレゼント

図書館主任

丸山 善典

渡辺さんは、美濃加茂市の教育長を平成八年から十年間おつとめになりました。現在は美濃加茂市文化団体連盟の会長として美濃加茂の文化活動を支えてくださっています。

私の孫は目下スポーツに熱中し、本には見向きもしない。が将来はどのように生き方に役立つのか分らない。楽しみだ。がしかし……。

バートンの父は、いつも子どもの誕生日に美しい絵本を買ってきて読み聞かせたそう。それが「ちいさいおうち」の源となった。

大人は子どもに継承しなければならぬものを沢山もっている。大人は童話からも、子どもと共に、もっともつと考えねばならないことを知らねばならないと思う昨今である。

「紙バッグ」は一つひとつ手作り、子どもたちに好評で図書の本を借りる意欲付けにもなっている。

毎週二冊本が借りられるので、本好きの子を中心に朝から大賑わいの図書館となり図書委員もうれい悲鳴をあげている。二冊のうち一冊は九分類の本を借りることになっているので、読書月間の時期は物語の貸出し冊数が大幅に増えている。またプレゼントの「しおり」や

先生の読み聞かせは、全校で子どもにも働きかけができる体制作りをという事で、自分のクラスでなく他学年に入ったり、担任を持っていない先生も入ったりして実施している。この読み聞かせは子どもたちがとても楽しみにしていて、今日はどの先生が読み聞かせをしてくれるのだろうか、とワクワクして待っている。読み聞かせをしているときの子どもが目キラキラと輝いていることから容易に想像できる。読み聞かせを通して、図書館にある本を紹介することにもつながり、その後図書館に足を運ぶ子どもも見られて、とてもうれしい結果に結びついている。読み聞かせボランティアは、PTA活動の一環として「トトロの会」に行っていたいたり、地域の方々にも参加していただいたりしている。





# 蜂屋小ぶんぶん



蜂屋小学校読み聞かせボランティア『ぶんぶん』がスタートして今年で四年目に入りました。月に一回木曜日の読み聞かせが子ども達の学校生活の一部として定着してきたように感じます。『ぶんぶん』の自慢はバラエティ豊かなメンバーです。蜂屋小に入ったばかりの一年生のお母さんから子どもはもう卒業した元保護者、朗読経験豊かなベテランから緊張しながら頑張る人。現在は十八名の協力があるため、全クラスに同時に入ることができます。学校との連携もあり、一時間目の始まる前の十五分が全校一斉に読み聞かせの時間になります。



『ぶんぶん』の朝は、各学級から児童が図書室にお迎えに来てくれるところからスタートします。一緒に教室に向かうと、黒板には『今日のぶんぶんは〇〇さんです。よろしくお願います』という歓迎の文字。息を整えて、さあ！読み聞かせの始まりです。持ち時間は十分程度。一時間めに差し障りのないよう配慮して内容を組み立ててきます。短いお話なら二、三冊読むこともあります。嬉しいのは、子どもたちから『今日は何冊読んでくれるの？』『もっと聞きたい！』と声がかかること。子どもとはいえ、三十名を目の前になると緊張してしまいますが、この一言でほっと安心します。緊張が解けて、いつもより大きな声も出せる気がします。子どもたちが『聴いている』『聴いてくれている』ことが、表情や姿勢、眼差しから伝わることで、読み手もお話の中へぐっと入っていきませす。絵本の世界へ読み手の声が誘い、聴き手がその世界へ入ることで、読み手もまた入っていきける。この相乗効果が読み聞かせの醍醐味だと思っております。読み手がいくら頑張っても、聴き手の反応が乏しければその相乗効果も乏しいものになってしまいます。効果を引き出ししてくれる聞き手・児童に恵まれているからこそ、私達の活動が続いているのかもしれない。

『ぶんぶん』の活動の楽しみは、それだけではありません。読み聞かせが終わると、図書室で今日読んだ本の紹介と子ども達の反応などを報告し合います。その時間がいろいろな本を知るとも楽しい情報交換の場になっています。たくさんのお絵本や本の中から、各々が選んできた本たち。小さい頃、自分が繰り返し読んだ本。発売したばかりのぴっぴか真新しい本。理科で習った植物にまつわる本。今の季節にぴったりの本。挿し絵がとても気に入った本。子どもたちに感じてほしいテーマのある本。メンバーそれぞれの『伝えたい気持ち』が詰まった本がずらりとならんだテーブルは、本好きにはたまりません。

ひと月に一回、朝の短い時間ではありますが、今日も子どもたちが気持ち良く一日をスタートできますように。『伝えたい気持ち』が少しでも伝わりますように。そして『今日のお話、面白かった』『続きが気になる』『あの場面の絵が好き』『もしも自分だったら』『など、子どもたちがそれぞれの楽しみ方を見つけてくれることを願って』『ぶんぶん』の活動を続けていきたいと思っております。(早川 ちとせ)

## えほん

「あのとときすきになったよ」

薫くみこ作 教育画劇 1260円

おもしろばかりしているから「しっこさん」とよばれているきくちまりかさん。なんとなくきらいだったわたしだけど、いくつかの出来事の中でなかよくなっていきました。そしてあるときおしっこをもらってしまったわたしに、「しっこさんがしてくれたことは…。ごめんね、まりかちゃん。しっこさんなんてもういわない。ほんとうのともだちのお話です。」



## 物語

「菜緒のふしぎ物語」

竹内もと代作 アリス館 1365円

菜緒は九歳の女の子、祖父母、曾祖母が住む、海に浮かぶ小さな島に遊びに行きます。その家は百五十年以上も前に建てられた、高くとがったかやぶき屋根の大きな家です。その家には不思議なものたちが住んでいます。怖いものではありません。「やしきぼうず」や「庭ぼつ」たちです。会ってみたくなる「ふしぎなものたち」が出てきます。五作品の短編連作です。みなさんに読んで欲しい一冊です。



この本読んでみて!

## 小説

「精霊の守り人」

上橋菜穂子作 借成社 1575円

新三ノ皇国の皇子チャグムに魔物がとりつき命をねらわれます。その皇子を助けるためにやとわれた女用心棒バルサは、次々とあらわれる敵と勇敢に戦っていきます。女ながらに体を張って皇子の命を守ろうとするバルサがとてもかっこよくて、あこがれてしまいます。チャグムの成長していく姿も感動的です。このお話には続編があります。「守り人」シリーズとして十巻続きますが、それもきつと、読みたくありませんよ。



## 大人むけ

「エンジェルフライト 国際霊柩送還士」

佐々木涼子作 集英社 1575円

「この本が出版されるまで、『国際霊柩送還』という仕事があることを知りませんでした。悲しみぬいて、きちんと生きぬくことができるように手助けしてくれる想いに、胸があつくります。児童書では『いのちつぐみ』と『りびと』シリーズが出版されています。命について親子で見つめなおしてみませんか。」



図書館クイズの答え 「池井戸潤」氏です。  
受賞作「下町ロケット」は、町工場の技術、意地、情熱を胸に、大宇宙への夢を紡ぐ男たちの熱きドラマです。